

北九州市物流拠点構想 概要版

ポテンシャル

地理的優位性

- 九州と本州の結節点
- 東京と上海の中間に位置し、発展著しいアジアのマーケットに近い立地環境

道路

- 九州道と東九州道の結節点であり、高速道路網が充実
- 九州管内では、本市を起点に西回り、東回り両方可能なことから、平時は、効率的な配送が可能となり、災害時は、物流ルートの寸断リスクが低減
- 下関北九州道路により、西中国エリアの経済圏もさらに拡がり、優位性が更に向上

平時も災害時も交通アクセス性確保

鉄道

- 発着トン数全国6位(2020)
- 鉄道輸送は、輸送単位当たりのCO2排出量が営業用トラックの約1/3分の1
- 鹿児島本線と日豊本線の中継拠点で、九州～本州間のすべての貨物列車が停車することから、九州最大の便数
- 北九州貨物ターミナル駅は、24時間体制でサポート

九州エリアのモーダルシフト拠点

北九州港

【内航】フェリー6航路、RORO2航路

- 海上輸送は、輸送単位当たりのCO2排出量が営業用トラックの約6分の1
- 首都圏、関西圏、中部、四国、沖縄への航路を有し、便数も充実

九州エリア最大のモーダルシフト拠点

【外航】34航路月間144便の国際定期コンテナ航路(2022.3.1時点)

- 中国、韓国、台湾を中心にアジア各港との間に豊富な航路を有する

アジアへの輸出入の拠点

北九州空港

- 国際貨物定期便 大韓航空 週4便(水・木・金・土)(2021.11.5～)
- 九州・中四国で唯一、24時間利用が可能
- 海上空港であることから、特殊貨物のシーアンドエア輸送が可能
- 滑走路の3000m化により、航空貨物需要のある北米・欧州への就航が可能

九州・西中国エリアの輸出入の拠点

産業基盤

- 自動車、半導体、素材・部品等を中心とした産業が集積・高度化しており、近年注目されている環境・エネルギー産業の立地も進む
- 本市を囲むように自動車メーカーの工場(トヨタ自動車九州、日産自動車九州、日産車体九州、ダイハツ九州、マツダ)が立地(全国シェア17.3% 2019年度)
- 北九州港は、全国で4か所指定された基地港湾のうちの一つであり、風力発電関連産業の総合拠点化を推進

物流リーディングプロジェクト

■ 北九州港と北九州空港の国際物流拠点化

- 北九州港への国際コンテナ航路の寄港と北九州空港への国際貨物便の就航を維持・拡大することにより、企業の立地環境を向上させ、本市経済の国際競争力を強化
- 航路・路線誘致、集貨、創貨、機能強化の取組を推進することにより、貨物の増加を図り、また貨物の増加がこれらの取組を加速させる好循環の構築を目指す
 - ▶ 北九州港と北九州空港の機能強化

■ 九州エリアの物流集約拠点の形成

- 九州と本州の結節点である地理的優位性を活かし、九州発荷物(EC、食品、農産物等)の集約拠点を整備し、荷物を大ロット化することで効率的に、首都圏、関西圏、海外へ輸送を行う
- コスト・リードタイム等に応じ、陸海空の適切な輸送モードで大ロット輸送(効率的な輸送)を行う
 - ▶ 民間事業者による物流施設の開発促進
 - ▶ 物流事業者等の物流施設誘致
 - ▶ 物流施設の高度利用・機能強化への取組
 - ▶ モーダルシフト促進、拠点化実証プロジェクト実施

■ 九州・西中国エリアへの配送拠点の形成

- 九州各地、西中国エリアとのアクセス性に優れ、人材の安定的確保が可能な本市に九州・西中国エリアへの配送拠点の整備を促進
- 今後も成長が見込まれるEC市場や一定期間の保管が可能な医薬品、家電、部品等(サプライチェーンの構築)の物流施設を立地する
 - ▶ 民間事業者による物流施設の開発促進
 - ▶ 物流事業者等の物流施設誘致
 - ▶ 物流施設の高度利用・機能強化への取組

■ 物流基盤を活かした成長産業の拠点形成

- 本市の物流基盤やその機能強化を背景に、成長産業(風力発電関連産業、半導体関連産業、次世代自動車関連産業、航空関連産業)を誘致することによって創貨を促進し、新たな物流を形成する
 - ▶ 風力発電関連産業総合拠点化の推進、半導体関連産業の誘致、次世代自動車関連産業の誘致、航空関連産業拠点化の推進

■ 産学官連携による物流施策推進体制の構築

- 物流の抱える諸課題の解決や、次世代を見据えた持続可能な物流を実現するため、物流に携わる事業者、有識者、行政で構成する「(仮称)物流懇話会」を設立する
- 勉強会やシンポジウム等を通して、物流の抱える課題の共有や、その解決のために必要な方策を深化していくとともに、課題解決に向けた機運の醸成を図る
 - ▶ 物流施策推進体制構築

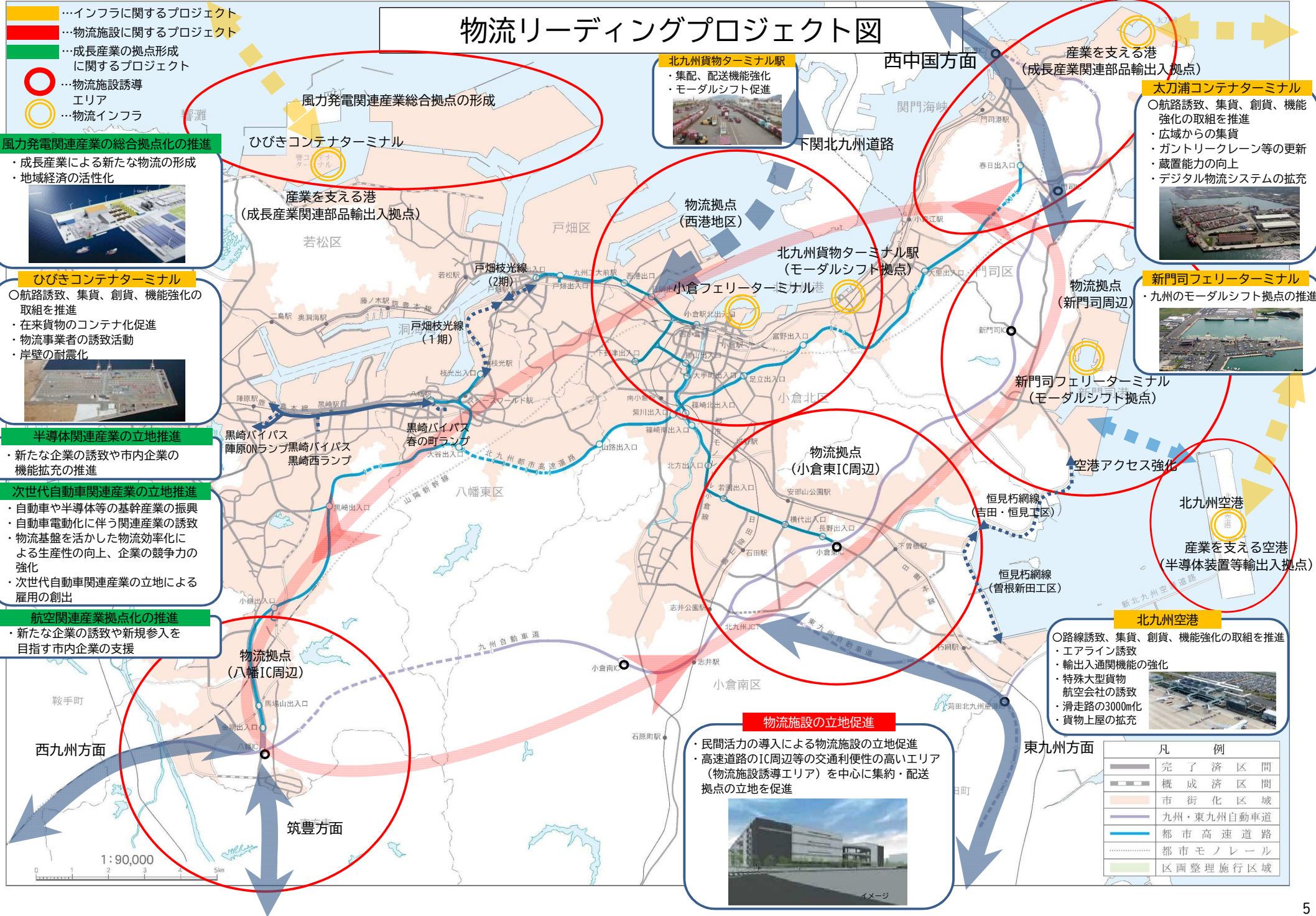
■ 物流施設の集積用地の確保に向けた取組

- 交通利便性の高いエリアに物流関連施設の集積を図る
- 民間開発の支援を強化(民間活力の導入)

物流拠点の目指す姿

各種輸送モードを組み合わせ、多種多様な物流ニーズと時代の変化に対応できる街を目指す
陸・海・空の結節点周辺エリア(物流施設誘導エリア)を中心に、物流関連施設の集積を図る

物流リーディングプロジェクト図



- ...インフラに関するプロジェクト
- ...物流施設に関するプロジェクト
- ...成長産業の拠点形成に関するプロジェクト
- ...物流施設誘導エリア
- ...物流インフラ

風力発電関連産業の総合拠点化の推進

- 成長産業による新たな物流の形成
- 地域経済の活性化

ひびきコンテナターミナル

- 航路誘致、集貨、創貨、機能強化の取組を推進
- 在来貨物のコンテナ化促進
- 物流事業者の誘致活動
- 岸壁の耐震化

半導体関連産業の立地推進

- 新たな企業の誘致や市内企業の機能拡充の推進

次世代自動車関連産業の立地推進

- 自動車や半導体等の基幹産業の振興
- 自動車電動化に伴う関連産業の誘致
- 物流基盤を活かした物流効率化による生産性の向上、企業の競争力の強化
- 次世代自動車関連産業の立地による雇用の創出

航空関連産業拠点化の推進

- 新たな企業の誘致や新規参入を目指す市内企業の支援

北九州貨物ターミナル駅

- 集配、配送機能強化
- モーダルシフト促進

太刀浦コンテナターミナル

- 航路誘致、集貨、創貨、機能強化の取組を推進
- 広域からの集貨
- ガントリークレーン等の更新
- 蔵置能力の向上
- デジタル物流システムの拡充

新門司フェリーターミナル

- 九州のモーダルシフト拠点の推進

北九州空港

- 産業を支える空港 (半導体装置等輸出入拠点)
- 空港アクセス強化

物流施設の立地促進

- 民間活力の導入による物流施設の立地促進
- 高速道路のIC周辺等の交通便利性の高いエリア (物流施設誘導エリア) を中心に集約・配送拠点の立地を促進

北九州空港

- 路線誘致、集貨、創貨、機能強化の取組を推進
- エアライン誘致
- 輸出入通関機能の強化
- 特殊大型貨物
- 航空会社の誘致
- 滑走路の3000m化
- 貨物上屋の拡充

凡	例
—	完了済区間
- - -	概成済区間
■	市街化区域
—	九州・東九州自動車道
—	都市高速道路
...	都市モノレール
■	区画整理施行区域